木を植えています
私たちはイオンです

第29期
中間報告書

2009.2.21～2009.8.20

マニラ大聖堂（フィリピン）

フィリピン現地法人が業容を拡大しております

イオンクレジットサービス株式会社

事業環境の変化に迅速に対応しながら既存事業の強化と新規事業の育成に取り組んでまいります。

森　美樹
イオン株式会社
総合金融事業最高経営責任者
兼　取締役会長

神谷　和秀
取締役社長

CONTENTS

株主の皆さまへ……1
特集……3
国内事業……5
海外事業……7
CSRへの取り組み……9
連結財務諸表の概要……11
会社データ……13

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。第29期中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

当中間期の業績

当中間期は企業収益や雇用情勢の悪化等、景気の先行き不透明感がさらに増したことにより、個人消費が低迷を続けるなど、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、国内外において積極的な会員募集に継続して取り組んだことにより、連結の有効会員数を2,070万人に拡大することができました。また、WAONの提携先開発強化、イオンカードセレクトの募集推進等、新たな収益源の育成に取り組みました。

海外事業につきましては、香港・タイ・マレーシアの上場子会社に加え、台湾、中国、インドネシア、ベトナム、フィリピン現地法人の業容拡大に取り組むとともに、新たな地域への展開として、インド、カンボジアに駐在員事務所を開設いたしました。

以上の取り組みの結果、カードショッピングや電子マネーの取扱高が順調に推移いたしましたが、キャッシングにおいて与信の厳格化や需要低下により、連結営業収益は849億31百万円(前年同期比95.9%)となりました。また、事業構造転換をさらに進めるため、電子マネー事業や銀行代理業、新たな国への展開等、新規事業への先行投資を継続して行った結果、営業利益は86億97百万円(同56.7%)、経常利益は84億17百万円(同54.3%)となりました。

なお、将来の利息返還リスクに備え、利息返還損失引当金140億円を特別損失に計上いたしました結果、中間純損失が61億72百万円となりました。株主の皆さまには、大変なご心配をおかけし、誠に申し訳なく存じます。

このような厳しい経営環境ではございますが、中間配当金につきましては、株主の皆さまからの日頃のご支援に報いるため、従来予想通り15円とさせていただきました。

今後も役職員一人ひとりの総力を結集し、この難局を乗り切るべく努力してまいる所存でございます。引き続き株主の皆さまからの変わらぬご支援を賜わりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

第29期 中間決算ハイライト

(単位:億円)

	連結		単独	
	実績*	前年同期比	実績*	前年同期比
取扱高	14,511	98%	13,088	99%
営業収益	849	96%	573	98%
経常利益	84	54%	39	39%
中間純利益	△61	–	△74	–

*平成21年2月21日～平成21年8月20日

当期の見通し

当社を取り巻く経営環境は、今後とも大変厳しい状況が続くと思われますが、当社では電子マネー事業、銀行代理業、インターネット事業をはじめとする新規事業の拡大、海外事業の強化に積極的に取り組むとともに、ローコストオペレーションの徹底に努めることにより、経営体質の強化を図り、業績目標の達成を目指してまいります。

2009年10月

配当金の状況

	第28期(実績)	第29期(予想)
中間配当金	15円	15円
期末配当金	25円	25円
年間配当金	40円	40円

特集　新たな収益源の育成

電子マネー事業、銀行代理業、インターネット事業をはじめとする新規事業の拡大に積極的に取り組むことにより、事業構造の転換を図ってまいります。

電子マネー事業

地域マネーとしての拡がり

商業施設や商店街での電子マネーWAONの利用店舗開発に継続して取り組むとともに、地方自治体、観光施設と提携したWAONカードの発行を開始する等、地域マネー化を積極的に推進いたしました。

発行枚数、取扱高の順調な拡大

「定額給付金キャンペーン」や「WAON発行枚数1,000万枚突破記念」、「グリーン家電エコポイントからWAONへの交換推進」等、利用促進キャンペーンを実施いたしました。これらの取り組みにより、WAON発行枚数は1,090万枚（期首比320万枚増）、電子マネー総取扱高は2,332億円（前年同期比309.0%）に拡大いたしました。

銀行代理業

インストアブランチ第1号店オープン

新たにショッピングセンター内にインストアブランチを開設し、口座開設受付に続き、住宅ローン、定期預金等の取次ぎを開始いたしました。

イオンモール水戸内原店

事務代行業務の受託拡大

イオン銀行のカード発券、コールセンター業務を受託し、事務代行事業の拡大を図ってまいりました。

口座開設

カード発券

コールセンター

インターネット事業

Webサイトによるサービスの充実

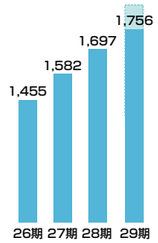
ネットメンバーを175万人に拡大するとともに、メンバー専用サイト「ときめきポイントTOWN」の加盟店数拡大に取り組み、お客さまサービス、利便性向上を図ってまいりました。また、カード会員さまにWeb上でいつでも手軽にご利用明細や催事情報をご確認いただける「ご利用明細Web宣言」を開始いたしました。

ご利用明細Web宣言

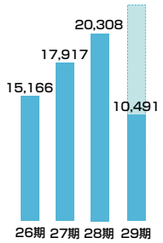
国内事業の強化

クレジットカード事業の競争力を強化するとともに、新規事業の業容拡大に取り組んでおります。

国内会員数の推移（万人）



国内カードショッピング取扱高推移（億円）



カード会員数が順調に拡大

積極的な会員募集に継続して取り組んだことにより、国内の有効会員数は期首より59万人純増の1,756万人となりました。
お客さまのニーズにお応えする魅力的なサービスを提供し続けることで、毎年着実に会員数を拡大しております。

カード会員拡大の取り組み

提携先企業やインターネットを通じた募集を継続して強化いたしました。
特に、クレジットカード、株式会社イオン銀行のキャッシュカード、電子マネーの機能・特典を1枚に集約した「イオンカードセレクト」につきましては、当社募集カウンターに加え、イオン銀行インストアブランチでの募集を強化した結果、発行開始から6ヶ月間で、有効会員数を21万人に拡大することができました。
また、男性・若年層といった新たな顧客層の開拓に継続して取り組みました。

カード受付カウンター

当社ホームページ

カード利便性の向上

公共料金、医療機関等の加盟店開発の強化に取り組むとともに、毎月5日・15日・25日のご利用でポイントが2倍たまる「お客さまわくわくデー」の推進、メーカー協賛による商品単位のボーナスポイントご提供等、稼働率向上に継続して取り組みました。

お客さまわくわくデー

ETCカードの発行推進

「ETCカード」につきましては、高速道路割引制度導入による需要の高まりに合わせ、即時発行拠点数を64ヶ所から203ヶ所に拡大し、募集を強化したことにより、ETCカード会員数を期首より68万人増の280万人に拡大することができました。

ETC専用カード

国内子会社の取り組み

イオン保険サービス株式会社

保険ショップ、インターネット、ダイレクトメールを活用した保険販売に継続して取り組み、新規契約の獲得を強化した結果、営業収益は18億63百万円（前年同期比102.9%）となりました。

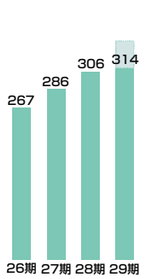
エー・シー・エス債権管理回収株式会社

全国10ヶ所のコンタクトセンターに、より効率的にご案内が可能となる新債権管理システムを導入し、公共料金等の集金代行業務の強化を図ってまいりました。その結果、営業収益は11億60百万円（前年同期比102.8%）となりました。

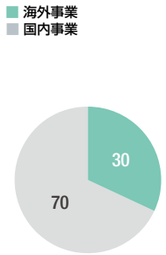
海外事業の拡大

新たな地域への展開を通じ、海外事業のさらなる拡大に
取り組んでまいります。

海外会員数の推移
（万人）



連結営業収益に占める
海外事業の構成比（%）



拡大し続ける海外ネットワーク

香港、タイ、マレーシアの上場子会社を中心とした海外ネットワークを構築し、グローバルな事業展開を行っております。新たな地域への展開を加速させ、インド、カンボジアに駐在員事務所を開設いたしました。

中国・香港

香港では、会員募集を強化するとともに、提携先企業と一体となった利用促進企画を積極的に展開することで、カードショッピング取扱高拡大に努めました。中国では、北京、青島、広州、深圳のイオン店舗にてハウスカード発行業務の受託推進に取り組んだ結果、ハウスカード会員数を期首より4.3万人増の7.1万人に拡大することができました。

イオンカード（永旺卡）　受付カウンター

タイ

提携先企業での会員募集を強化するとともに、日系大手バイクメーカーとの共同企画を強化することでハイヤーパーチェス取扱高の拡大を図りました。保険代理店事業におきましては、タイ全土に拡がる営業ネットワークを活かし、自動車保険や団体保険等の対面販売による契約者数の拡大に努めました。

ジャスコ ナワミン店　保険カウンター

マレーシア

ポイント機能一体型カードの発行を開始するなど、イオンカードを中心とした会員募集を強化いたしました。
ハイヤーパーチェス事業では、全国29ヶ所の営業ネットワークの活用により、地方都市での加盟店開発を強化するとともに、イオン並びに大手家電メーカーでのプロモーションを実施し、取扱高を順調に拡大することができました。

ジャスコ ブキットインダ店　カードカウンター

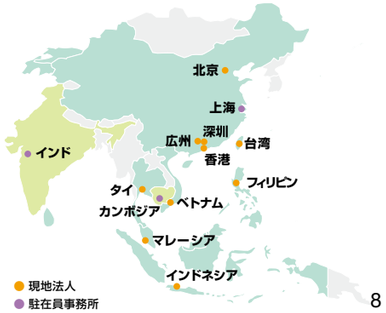
台湾

クレジットカード事業において、現地大手流通グループの提携第一弾として、フィットネスクラブ「ビーイングスポーツ」との提携カード発行を開始いたしました。
またハイヤーパーチェス事業では、地元大手の総合家電メーカー系列店との加盟店契約を締結し、取扱高拡大に努めました。

ビーイングスポーツとの提携カード

新たな地域

インドネシア、ベトナムでは、加盟店開発を強化し、事業拡大に継続して取り組んでまいりました。フィリピンでは、システム会社の人員を90名に拡大し、今後、グループ会社のシステム共通化に向けた取り組みを推進してまいります。
また、新たな地域への展開として、インド（ムンバイ）、カンボジア（プノンペン）に駐在員事務所を開設いたしました。



環境・社会貢献活動の推進

さまざまな環境保全活動に取り組むとともに、「良き企業市民」として国内外での社会貢献活動を推進しております。

経営姿勢やCSR、環境に対する活動が評価され、「FTSE4Good Index」の構成銘柄に選ばれております。

FTSE4Good

CO_2排出量30%削減への挑戦

地球温暖化防止は世界的な課題であり、企業には具体的な行動が求められています。当社では2012年のCO_2排出量を2006年度比で30%削減する目標を掲げ、省エネルギーの徹底、紙の使用量の削減、パソコンサーバーの省エネ型機種への切り替えなどさまざまな活動を推進しております。

地域社会への貢献活動

当社では、事業活動を通じた社会貢献活動に加え、地域の皆さまとともにさまざまな活動を実施しております。従業員による地域の清掃活動、社会福祉施設でのボランティア活動に加え、千葉県の青少年協会「食育お米づくり」事業に協賛いたしました。

千葉県青少年協会からの感謝状

従業員による植樹活動

当社では、イオン環境財団を通じた植樹活動に積極的に参加しており、万里の長城植樹、秋田下浜海岸植樹、北海道支笏湖植樹など、国内外で従業員による植樹活動を行いました。今後も植樹活動を通じて地域の方々との交流も深めてまいります。

万里の長城植樹

イオン1%クラブを通じた活動

「盛岡さんさ踊り」、「秋田竿燈まつり」、「秋田おばこ踊りフェスティバル」など地域文化の振興・継承に向けた活動に、当社従業員が参加いたしました。加えて、甚大な被害をもたらした台風8号による台湾被災者への災害復興支援金などの寄付を実施いたしました。

秋田おばこ踊りフェスティバル

海外子会社の取り組み

■ 香港

イオンクレジットサービス(アジア)では、「香港特別行政区優秀学生コンテスト」や「ユニセフ青年大使プログラム」への寄付活動を継続的に実施するとともに、現地従業員によるボランティア活動、植樹活動を実施いたしました。

香港特別行政区優秀学生コンテスト

■ タイ

イオンタナシンサップ(タイランド)では、社会福祉施設への寄付活動や生徒との交流活動を実施するとともに、タイ赤十字社が実施する献血活動に現地従業員が積極的に参加いたしました。

社会福祉施設生徒との交流会

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前 期 2009年2月20日現在	当中間期 2009年8月20日現在	増減
【資産の部】			
流動資産	797,954	**847,351**	49,397
現金及び預金	61,033	**28,730**	△32,303
割賦売掛金	245,378	**374,873**	129,495
営業貸付金	483,527	**434,733**	△48,793
その他	58,772	**59,455**	682
貸倒引当金	△50,757	**△50,442**	315
固定資産	56,081	**74,843**	18,762
有形固定資産	9,469	**9,759**	289
無形固定資産	11,471	**11,589**	118
投資その他の資産	35,140	**53,494**	18,354
繰延資産	157	**138**	△19
資産合計	854,193	**922,333**	68,140

	前 期 2009年2月20日現在	当中間期 2009年8月20日現在	増減
【負債の部】			
流動負債	230,795	**304,932**	74,137
短期借入金	26,581	**68,773**	42,192
1年内返済予定の長期借入金	70,542	**81,979**	11,436
1年内償還予定の社債	16,272	**14,028**	△2,244
その他	117,398	**140,151**	22,752
固定負債	441,496	**444,329**	2,833
社債	104,533	**92,348**	△12,184
長期借入金	321,981	**321,660**	△320
利息返還損失引当金	11,936	**26,286**	14,350
その他	3,046	**4,033**	987
負債合計	672,292	**749,262**	76,970
【純資産の部】			
株主資本	167,461	**157,694**	△9,767
資本金	15,466	**15,466**	—
資本剰余金	17,052	**17,044**	△8
利益剰余金	135,161	**125,370**	△9,791
自己株式	△219	**△186**	32
評価・換算差額等	△4,926	**△4,697**	228
新株予約権	25	**—**	△25
少数株主持分	19,340	**20,073**	733
純資産合計	181,901	**173,071**	△8,830
負債純資産合計	854,193	**922,333**	68,140

連結損益計算書

（単位：百万円）

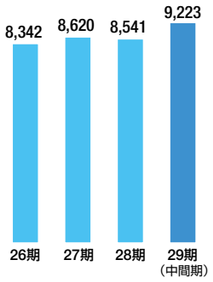
	前中間期 2008年2月21日から2008年8月20日まで	当中間期 2009年2月21日から2009年8月20日まで	前年同期比（%）
営業収益	88,586	**84,931**	95.9
総合あっせん収益	25,964	**27,212**	104.8
個品あっせん収益	4,935	**3,954**	80.1
融資収益	50,047	**41,425**	82.8
業務代行収益	2,460	**5,513**	224.0
償却債権取立益	1,362	**1,419**	104.2
その他	3,729	**5,313**	142.5
金融収益	86	**92**	106.5
営業費用	73,240	**76,233**	104.1
営業利益	15,346	**8,697**	56.7
営業外収益	278	**214**	77.0
営業外費用	119	**493**	411.8
経常利益	15,504	**8,417**	54.3
特別利益	6,645	**—**	—
特別損失	7,675	**16,057**	209.2
税金等調整前中間純利益及び純損失(△)	14,475	**△7,639**	—
法人税等合計	5,076	**△3,280**	—
少数株主利益	2,322	**1,813**	78.1
中間純利益及び純損失(△)	7,076	**△6,172**	—

連結キャッシュ・フロー計算書

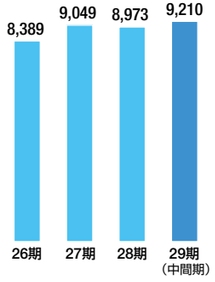
（単位：百万円）

	前中間期 2008年2月21日から2008年8月20日まで	当中間期 2009年2月21日から2009年8月20日まで	前 期 2008年2月21日から2009年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,977	**△55,242**	45,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81	**△2,504**	△698
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,348	**25,025**	1,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	△232	**345**	△2,184
現金及び現金同等物の増加減少額	△942	**△32,376**	44,363
現金及び現金同等物の期首残高	15,753	**60,202**	15,753
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	**69**	—
吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額	85	**—**	85
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	14,896	**27,895**	60,202

総資産（億円）

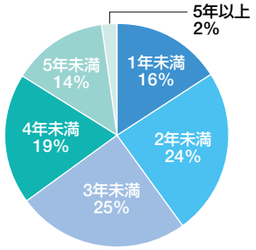


営業債権残高（億円）



※債権流動化分を含んでおります。

長期資金調達の年限別構成比
［単独］



※債権流動化分を含んでおります。

IR説明会の実施

多くの投資家さまに当社をご理解いただくため、投資家さま向けIR説明会を実施しております。

当社では中間期および本決算期に、投資家さま向けIR説明会を実施しております。
説明会では業績概要や今後の重点実施事項等についてご説明させていただいております。今後も引き続き、投資家の皆さまへの情報開示に力を入れてまいります。

会社概要

（2009年8月20日現在）

商号	イオンクレジットサービス株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 （証券コード:8570）
本店	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
電話番号	(03)5281-2030(代表)
URL	http://www.aeoncredit.co.jp
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円

取締役および監査役

（2009年8月20日現在）

取締役会長	森　美樹
取締役社長	神谷　和秀
常務取締役	清永　崇司
常務取締役	斉藤　達也
取締役	高野　清昭
取締役	近藤　安彦
取締役	山田　義隆
取締役	玉井　貢
取締役	浅沼　清保
取締役	池西　孝年
取締役	伊藤　秀行
取締役	石塚　和男
常勤監査役※	谷内　寿照
監査役※	杉原　弘泰
監査役※	若林　秀樹
監査役※	山浦　耕志

※監査役は全員、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

（2009年8月20日現在）

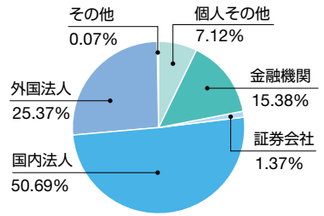
発行可能株式総数	540,000,000 株
発行済株式総数	156,967,008 株
株主数	15,547 名

株式の状況

（2009年8月20日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
イオン株式会社	71,576	45.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	6,967	4.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,564	3.55
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,745	3.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,986	2.54
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,690	2.35
メロン バンク エーピーエヌ アムロ グローバル カストディ エヌブイ	2,800	1.78
マックスバリュ西日本株式会社	2,646	1.69
ミニストップ株式会社	2,290	1.46
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	2,070	1.32

所有者別株式数の構成比



株主メモ

決算期	2月20日
基準日	定時株主総会基準日　2月20日 期末配当基準日　2月20日 中間配当基準日　8月20日
定時株主総会	5月20日までに実施
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（http://www.aeoncredit.co.jp） ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。

ホームページのご紹介

投資家の皆さまへの情報はホームページでもご覧になれます。
http://www.aeoncredit.co.jpから「株主・投資家情報」をクリックしてください。

トップページ

会社情報

株主・投資家情報

CSR情報

AEON

イオンカードとイオンバンクカードが1枚に。さらにWAONも。

イオンカードセレクト
ご入会承り中!

特典1 毎月20日・30日「お客さま感謝デー」は
お買物代金5%OFF！

特典2 毎月5日・15日・25日
「お客さまわくわくデー」はポイント2倍！

ときめきポイント
カードショッピングご利用金額200円につき、
ポイント2倍！

WAONポイント
WAONご利用金額200円につき、
ポイント2倍！

特典3 WAONのオートチャージ
ご利用200円ごとに
1WAONポイントプレゼント！

特典4 各種公共料金を決済いただくと、1件につき
毎月5WAONポイントプレゼント！

電気 ガス 水道 固定電話 携帯電話 PHS NHK 国民年金

特典5 イオン銀行を給与振込口座に
ご指定いただくと
毎月10WAONポイントプレゼント！

イオンクレジットサービス株式会社
お申込みはこちらから▶URL http://www.aeoncredit.co.jp/

イオン銀行の便利なATMをご存知ですか？

1 24時間365日、引き出し手数料無料！
＊イオン銀行以外のキャッシュカードでのお引き出しは、手数料がかかる場合がございます。

2 増えてます。使えるカード
イオンのカードはもちろん、銀行・ゆうちょ・信用金庫などのキャッシュカードや
クレジットカードなどがご利用いただけます。
＊ご利用いただけない金融機関もございます。

3 お店の営業時間内ならいつでもご利用可能！
設置されている店舗の営業時間中は、いつでもご利用OK!
＊ご利用されるカードによりご利用時間が異なります。

FSC ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SA-COC-001210
© 1996 Forest Stewardship Council

PRINTED WITH SOY INK
植物性大豆油インキを使用しています。

イオン銀行
詳しくはこちらから▶URL http://www.aeonbank.co.jp/